

貯法
保存条件 遮光、室温保存
容器 気密容器
使用期限 外箱に記載
注意 「取扱い上の注意」の項参照

止しゃ剤、整腸剤
日本薬局方

タンニン酸アルブミン

※〈タンニン酸アルブミン〔NikP〕〉
Albumin Tannate

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

- 出血性大腸炎の患者〔腸管出血性大腸菌（O157など）や赤痢菌などの重篤な細菌性下痢患者では、症状の悪化、治療期間の延長をきたすおそれがある。〕
- 牛乳アレルギーのある患者〔ショック又はアナフィラキシー様症状を起こすことがある。〕
- 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- 経口鉄剤を投与中の患者（「相互作用」の項参照。）

【原則禁忌（次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること）】

細菌性下痢患者〔治療期間の延長をきたすおそれがある。〕

【組成・性状】

1. 組成

1g中 日本薬局方 タンニン酸アルブミン 1gを含有する。
本品はタンニン酸とたん白質との化合物であり、そのたん白質は乳性カゼインである。

2. 製剤の性状

本品は淡褐色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なにおいがある。

【効能・効果】

下痢症

【用法・用量】

タンニン酸アルブミンとして、通常成人1日3～4gを3～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
肝障害のある患者〔肝障害を悪化させるおそれがある。〕
- 相互作用

(1) 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
経口鉄剤（フェロミア、フェロ・グラデュメット、インクレミンシロップ、フェルムカプセル）	併用により相互に作用が减弱することがあるので、併用をしないこと。	鉄と結合したタンニン酸鉄となり、タンニン酸による収れん作用が减弱する。

(2) 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ロペラミド塩酸塩	ロペラミド塩酸塩の効果が减弱するおそれがあるため、投与間隔をあけるなど併用に注意すること。	本剤がロペラミド塩酸塩を吸着することが考えられる。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用（頻度不明）

ショック、アナフィラキシー様症状

ショック、アナフィラキシー様症状を起こすことがあるので、観察を十分に行い、呼吸困難、蕁麻疹、顔面浮腫などの過敏症状あるいは気管支喘息発作などの症状が発現した場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

種類\頻度	頻度不明
長期・大量投与 ^{注1)}	肝障害
消化器	便秘、食欲不振

注1) 長期又は大量投与を避けること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：タンニン酸アルブミン（Albumin Tannate）

性状：本品は水又はエタノール(95)にほとんど溶けない。本品は水酸化ナトリウム試液を加えるとき、混濁して溶ける。

【取扱い上の注意】

- アルカリにより分解する。
- 抱水クロラールやヨウ化物と混合すると湿潤する。

【包装】

500g

※※【問い合わせ先】

岩城製薬株式会社
〒103-8434 東京都中央区日本橋本町4-8-2
TEL：03-6626-6252



発売元

岩城製薬株式会社

東京都中央区日本橋本町4-8-2



製造販売元

日医工株式会社

※ 富山市総曲輪1丁目6番21